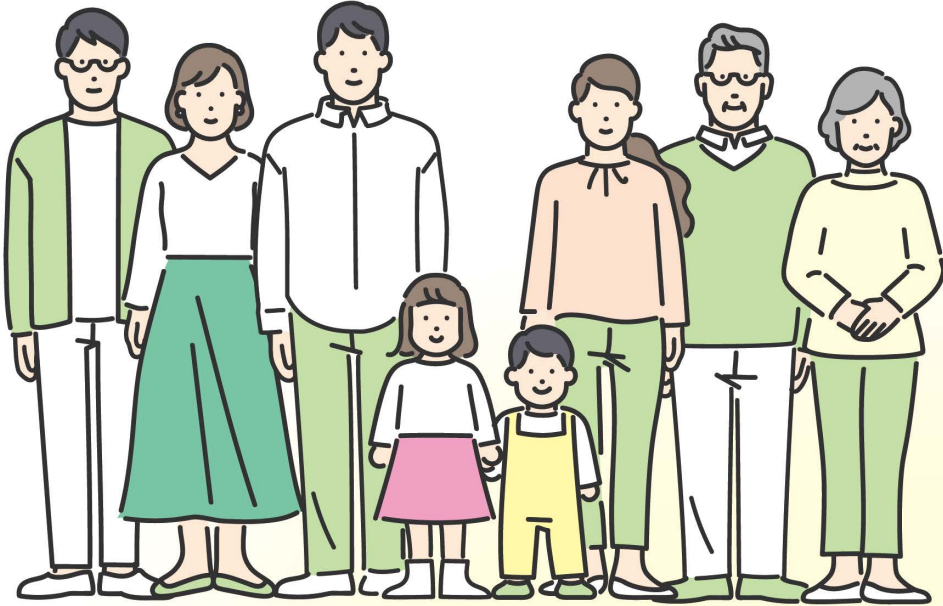


墨田区議会 自由民主党 だより



■発行/墨田区議会自由民主党(墨田区吾妻橋1-23-20) ■発行責任者/佐藤 篤 ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

SUMIDA-KU ASSEMBLY LIBERAL DEMOCRATIC PARTY DENOMINATION REPORT



※予算特別委員会 終了後

写真左上より/大門しろう委員、井上ひろき、堀よしあき、しもむら緑、
福田はるみ議長、藤崎こうき、あべよしたけ、加藤ひろき委員、
稲葉かずひろ、
写真左下より/佐藤篤委員、坂井ユカコ委員長、小林しょう副委員長、
たきざわ正宜委員、

みんなが、住み良い街づくり、すみだ

墨田区議会 自由民主党では区民目線で予算編成を進めました!

「つながりが織り成す“人”が輝くまち 明日の“すみだ”を共創する予算」

令和6年度予算 総額 1957億1100万円 (+6.1%)

一般会計 1372億6500万円 (+8.2%)		国民健康保険 特別会計 281億 1600万円 (-0.4%)	介護保険 特別会計 233億 5800万円 (+3.0%)	後期高齢者 医療 特別会計 69億 7200万円 (+3.1%)
議会公費	民生費	衛生費	産業観光費	土木費
総務費	教育費	衛生費	衛生費	土木費
区民生活費	諸支出金	衛生費	衛生費	土木費
資源環境費	予備費	衛生費	衛生費	土木費

*()内は、5年度当初予算と比べた増減率

pickup

新年度予算について審議しました



わが会派を代表して
予算案に賛成の立場
から意見開陳を行う
たきざわ正宜委員

令和6年度墨田区各会計予算(一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計)は、2月21日に開催された本会議で設置された予算特別委員会に審査が付託されました。

委員構成は16名で、わが会派からは、坂井ユカコ委員長、小林しょう副委員長、佐藤篤委員、たきざわ正宜委員、大門しろう委員、加藤ひろき委員が、3月12日まで、21日間にわたり、審議にあたりました。

款別質疑・総括質疑、各会派の意見開陳を経て、令和6年度予算議案4件は起立表決により賛成多数で可決、また日本共産党からの予算組替え動議は反対多数で否決されました。

この審査結果は、坂井ユカコ予算特別委員会委員長から福田はるみ議長に報告され、3月28日(2月議会最終日)、賛成多数で可決、成立しました。

ベビーシッター補助開始を求める

本区は「ハグ」や「ファミサポ」といった独自事業を展開してきましたが、都もベビーシッター補助事業を実施しており、現在17区が利用しています。子育て世代のためにも補助メニューの拡充は必須です。私たちはベビーシッター補助開始を求めました。

集団回収支援強化

町会や子ども会など、現在413団体が集団回収を実施しています。報奨金は各団体の貴重な収入源となり、区にとっても回収経費が抑制できるなど大きな効果があります。私たちは、報奨金の見直し含め、回収団体の支援を求めました。

受動喫煙防止対策強化

受動喫煙防止の観点から、区内の公共喫煙所が9か所では全く不足しています。毎年区に入ってくる特別区たばこ税は24億円です。私たちは、都の喫煙所設置改修補助金も活用し、分煙機能がある喫煙所の新規拡充と民間活力への積極的補助を求めました。

野球場の空き時間を有効活用

錦糸公園にある野球場は、平日は半分の時間が空いている状態でした。そこで私たちは、野球場としての使用を原則としつつ、一定の条件をクリアすれば別のスポーツなどで利用できるよう求めました。要望を受け、区は4月から利用受付を開始しました。

長寿祝い金、継続へ

墨田区では、区内在住の最高齢者と百歳、米寿、喜寿の高齢者を祝って、長寿者祝金を贈呈しています。他区で廃止している事例もあるようですが、我が区は継続すべきと強く求めました。私たちの要望を受け、区は長寿祝い金の継続を決めました。

デジタル商品券が出来ます

QR決済(PayPay)を利用したキャッシュレス決済促進と個店支援は、大きな消費喚起と家計支援を実現しました。回を重ね、区外からの利用が増えていることを私たちは指摘しました。今年、区民対象のデジタル商品券事業を実施する方向です。

情緒障害児童生徒の支援

夫婦共働きの時代、保護者のキャリア形成にも影響する重要な政策課題です。私たちは、障害のある児童生徒と保護者のため、移動支援、人材・サービス、予算面について検証を進めることを求めました。(4P特別委員会報告にも掲載)

中学校連陸 国立競技場で開催決定

今年の中学校連陸上競技大会は国立競技場で開催が決定しました。競技に対する意欲の高まり、将来の夢や希望をもつきっかけにつながるため、私たちは次年度以降についても国立競技場での開催を検討することを求めました。

学童クラブ

まず小学校が決まり、その周辺の学童クラブを申し込むのが自然ですが、墨田区は申込順が逆のため、児童によっては、学校から遠く離れた学童クラブに通うことになってしまいます。私たちは、利用者目線に立った制度構築を求めました。

代表質問



墨田区議会議員
藤崎 こうき



藤崎 議員の
全動画を
QRコードから
ご覧になれます。

令和6年度財政の考え方、重点施策について

■令和6年度財政の考え方、重点施策について
 図1 区民・事業者を取り巻く物価高騰の状況は継続しており、我々も会派として、来年度予算編成に向け、区内生活への悪影響を最小限にとどめるべく、区内事業者の事業継続のための支援拡大、教育・子育て施策を含む生活支援施策の継続・拡充等を要望してきた。昨年度は、納税義務者の転入や、企業収益の改善等により、特別区民税や特別区交付金が増えつつあり、全体的に、歳入状況は良好であると認識している。今後の人口や税収の見通しを含め、どのような考え方で予算を編成されたのか、区長の見解を伺う。

また、区長はなぜ「子どもまななかすみだ」の実現に向けた取組み、多様な「つながり」を地域の課題解決に活かす取組み、未来を見据えたまちづくりの推進を、「つながりが織り成す人」が輝くまち明日の「すみだ」を共創する予算において、令和6年度の重点施策として位置付けたのか、見解を伺う。

■来年度予算については、物価高騰による影響等もあるが、すみだ保健子育て総合センターの整備・開設をはじめとする公共施設等の投資的経費の増や、学校給食費保護者負担軽減事業、区民サービス向上のためのDX推進など、新たな行政需要に対して、積極的な予算措置を行い、前年度と比較し100億円を超える、過去最大の予算規模となった。

人口については、今後も生産年齢人口を中心に増加していくことが見込まれ、税収についても、当面は堅調に推移すると予想される。

しかしながら、公共施設の老朽化への対応や、社会保障関連経費の増加など、行政需要も増大していくと想定されることから、更なる行財政改革の推進により、区政課題に対して、適切に予算措置を行えるよう、財政基盤の強化に努めていく。

次に、3つの重点施策の位置づけに関する考え方について。令和6年度は、次世代につながるまちの礎を築く年であると考えており、「子どもまななか」の機運の高まりを踏まえ、「すみだ子ども・子育て応援プログラム」を推進し、子どもの最善の利益を優先するまちを実現していくこと。区政課題が多様化・複雑化する中で、本区ならではの地域

力、人と人、人と地域のつながりを活かして課題を解決していくこと。区内の様々なエリアで、将来に向けたまちづくりが大きく動き出している機会を捉え、地区ごとの個性を活かしながら、区全体の魅力や価値向上につながるまちづくりを推進すること。

これらについて重点的に取組み、誰もが輝くことができる「すみだ」の未来へとつなげていく。

キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業の継続について

■キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業の継続について
 図1 この事業は、これまで、「コロナ禍での区内事業者への緊急支援策として5回に渡り実施され、大きな成果を上げてきた。本事業の継続について、我が会派の要望を踏まえ、区としてどのように令和6年度予算案に反映させているのかを明確な回答を求める。さらに、本事業はこれまで、条件が整ってさえいれば誰でも同じポイント還元を受けられるといったものであった。これに対し区民の皆様からは、「墨田区の予算で実施しているのに区民が優遇されないことに不公平を感じる」という意見もあつたと仄聞している。こうした御意見に対して、どのように対応していく考えなのか見解を伺う。

■令和6年度は、これまでの本事業の検証を踏まえ、新たに「プレミアム付デジタル商品券事業」を予算計上した。これは、区民の皆さんにポイントが上乗せされたデジタル商品券を事前に購入いただき、区内商店街等でのキャッシュレス決済に利用できるものである。

5回実施したポイント還元事業における様々な課題を検証し、区民や議会の皆さんからのご意見を踏まえ、区民への販売を優先することや、事業の持続可能性を高め、生活者支援にも繋がる事業者支援策としていきたいと考えている。

学校給食費の徴収免除について

■学校給食費の徴収免除について
 図1 令和6年度予算において、学校給食費免除事業はどのように対応されるのでしょうか？また、国の責任と権限により執行すべき「学校給食費無償化」の実現に向けては、区長ご自身や区長会として、どのように取り組まれるか、見解を伺う。

■ご指摘のとおり、物価高騰状況は依然として厳しいものと認識しており、子どもの健やかな育ちの支援及び物価高騰対策として継続する必要があると考えている。

他区から本区に就学している場合や、食物アレルギー、不登校等により、給食を喫食していない場合についても、本年度と同様に対応していく。

なお、学校給食費無償化については、国の責任と権限により行うべきものと考えており、制度化や必要な関連法令の改正について、引き続き区長会を通じて要望していく。

一般質問



墨田区議会議員
たきざわ 正宜



たきざわ 議員の
全動画を
QRコードから
ご覧になれます。

防災対策・情報発信のあり方について

■防災対策・情報発信のあり方について
 図1 墨田区は輪島市への被災地支援の様子を区の公式YouTubeチャンネルやFacebookで公開し、区の車両が走る映像や救済物資を搬入する職員の様子、小学生からの手紙を届ける姿を通じて、具体的な支援活動を示した。区民の関心の高さが伺える「いいね」の数の多さから、情報発信の有効性が示された。災害時の情報発信は、区民の防災意識向上に寄与すると考えられるが、区長の所見を伺う。

図2 今回の能登半島地震では、建物の耐震化やライブラリの復旧などハードとソフトの両面での課題が浮き彫りになり、特に支援物資が被災者にスムーズに届かない問題が実感された。ボランティア活動の混乱も復旧作業に影響を与えたと考えられる。墨田区は、既に他自治体と災害協定を結び、救援体制の準備を進めているが、今回の経験を踏まえて救援体制の強化を図るべきであると考えているが、区長の所見を伺う。

■令和6年度は「墨田区災害時受援応援計画」を策定し、支援物資の受け入れをはじめ、他自治体等からの応援職員やボランティアを円滑に受け入れられるよう、受援体制を強化することで、災害対応能力を高めていく。

■今回の能登半島地震の報道から、医療的なケアや介護が必要な要配慮者に対して、災害時に、どのような支援をしていくかは、大きな課題であると実感した。要配慮者の方は、健康状態が悪化しやすく、精神的な不安を取り除くためのメンタル的なケアも必要である。本区の災害弱者の命・健康を守るための「要配慮者支援体制」について、区長の所見を伺う。

■要配慮者支援について、発災直後の安否確認及び救護のほか、避難所には要配慮者救護所を立上げ、特に配慮が必要な方への支援を行っていく。また、避難所で生活することが困難な方については、二次避難所として、福祉避難所やホテル等を活用していただく予定であり、様々な状況を想定し、要配慮者の支援体制を強化していく考えである。

2023 new organization



地域産業都市委員会

写真左より/たきざわ正宜 委員、大門しろう 副委員長、稲葉かずひろ 委員

地域公共交通計画策定における基礎調査について

墨田区では地域公共交通計画策定について基礎調査を行いました。行政側から結果に関して報告があり、我が会派からは人口動態や利用状況の分析を通じて新たな技術や社会変化への適応を要望しました。今後も区民の皆様の声を大切に、ニーズに応えられる公共交通計画の策定がなされるよう注視してまいります。

廃プラスチック分別収集について

4月1日より廃プラスチック分別収集が開始します。我が会派では一貫して、分別収集が開始される理由や方法を、区民の方へ丁寧に説明することを求めてきました。また、学校や教育機関を活用し、子どもたちへの周知も要望。集合住宅のような特定の収集日に回収が困難な場所では、住民の事情に寄り添った柔軟な回収体制を整えることを強く求めました。



区民福祉委員会

写真左より/福田はるみ 委員、あべよしたけ 副委員長、加藤ひろき 委員

ひきこもり支援推進事業について

墨田区に約4,000人いると推定されているひきこもりの方々に対し、昨年より開設されたひきこもり支援推進事業の相談件数とその成果について確認したところ、2,079件の相談を受け、地域プラットフォームを活用する事で相乗効果が上がっていると事でした。今後も引き続き支援の充足を求めました。

ワンヘルスの取り組みの必要性について

新興、再興感染症は動物由来の人獣共通感染症でもあり、予防や蔓延防止には人の健康、動物の健康、環境の健全性を守る『ワンヘルス』の考え方に基づく対策を考えていく必要がある。世界の共通言語となっているワンヘルスの重要性を念頭に置き将来にわたって区民の健康を守るために、ワンヘルスの考え方を施策に活かしていかななくてはならないと考え、所管の考え方を問いました。

一般質問



墨田区議会議員 井上 ひろき



井上 議員の 全動画を QRコードから ご覧になれます。

■庁内ネットワークの三層の対策について

図1 平成27年から「三層の対策」によるセキュリティ対策の強化が行われていて、庁内のネットワークは、完全に分離されている3層にわかれている。

DXを力強く進めていくためには、表向きはシステム導入を進めるのではなく、ネットワークの在り方を日頃から検討をしていく必要があると考える。

庁内ネットワークの在り方として、現状をどのように捉えており、今後検討を進める考えがあるのか、そして、どのように検討し導入の実施していくのか、区長の考えを伺う

図1 利便性を高めながらセキュリティも確保するネットワークの構成について、再検討すべき時期に来ていると考えている。

国においては、新しいモデルの検討が始まっていることから、本区としても、令和7年度に行うネットワーク構成の再構築において、国が示す新しいモデルの導入を含め検討していく。

■送信メールの宛先について

図1 メールを送信先である宛先の設定はTO、CC、BCCの3箇所ある

本区では、住民、企業など、インターネットを通じてメールを送信する場合、全ての宛先をBCCに設定し、送信されるようになっている

民間企業では、主担当者をTO、関係者をCCに設定し、多数のアドレスを設定して送信する

その返信が全てBCCになると、民間企業側にて設定間違いが発生するリスクが相当上がってしまうと、業務負担の向上につながってしまう。

今後、BCCではなく、TO、CCを使用した一般的な仕組みに切り替える考えがあるのか、区長の考えを伺う

図1 メール送信の宛先については、設定を誤り、メールアドレスが漏洩する事故が全国的に絶えないことから、ご指摘のような課題があることは認識している。

今後は、DXの推進に伴い、チャット等のコミュニケーションツールの活用と合わせて、セキュリティの担保を前提にしたメールの利用について、規程の見直しも含めて検討していく。

一般質問



墨田区議会議員 加藤 ひろき



加藤 議員の 全動画を QRコードから ご覧になれます。

■EV充電器の設置補助・車両購入助成の導入について

図1 本区では「墨田区地球温暖化防止設備導入助成制度」のひとつとして充電設備の設置者に対して補助をしており、令和5年度当初予算内では予定件数26件、予算額1,950千円が計上されていたが利用者は5件に留まっている。この低い利用率は、補助制度の認知度不足や手続きの煩雑さが原因と考えられるが、区長の所見を伺う。

また近隣区では車両購入補助が行われている。他の事例を参考にしながら、本区においても購入時の補助制度を導入すべきと考えられるが区長の所見を伺う

図1 助成制度は、今後SNSの活用や環境フェア等、各種イベントの機会をとらえて周知し、普及啓発に努めていく。

EVの普及は、地球温暖化防止対策として有効であると考えており、本区では、来年度から、新たに、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車の車両購入に対する助成を予定している。

今後は、すみだゼロカーボンシティ2050宣言の実現に向け、CO₂排出削減の取組を推進するため、積極的に補助事業を周知していく。

■充電インフラの拡充・今後の方向性について

図1 墨田区におけるEV普及は、公共施設や商業施設への充電設備設置が必要であり、環境保全のみならず住民の生活の利便性向上にも寄与する重要な取り組みである。区民の生活に直結する選択肢を持てる他区の事例を参考にしつつ、世界的な環境保全のため、国・都として急速に進んでいくであろうこの取り組みに遅れを取らず、古く良き歴史と先進的取り組みが共存する墨田区を目指していくべきと考えるが、区長の所見を伺う

図1 第二次すみだ環境の共創プランにおいて、CO₂排出量の削減に向けて、次世代自動車の普及を図ることを目指しており、充電ステーションの設置は、その推進に資するものと考えている。

区有施設への導入の可能性を検討するとともに、公共用充電設備に関する国や都の助成制度等を周知するなど、民間施設等への設置を働きかけていく。

今後は国や都、区内事業者等とも連携して、次世代自動車の普及に向けた環境整備に取り組んでいく。

図1 本区ではこれまで、ふるさと納税の返礼品として「モノ」の返礼品が多かったが、更なる競争激化が予想されるふるさと納税において、本区の魅力を全国に発信できる「コト」の返礼品が不可欠と考える。毎年100万人の観光客が訪れる、日本最大級の花火大会である隅田川花火大会の協賛席の在り方を見直し、ふるさと納税向けの専用観覧席も設け、返礼品として打ち出してみようか。

また、日本相撲協会とも意見交換をし、ふるさと納税の趣旨に賛同していただける区内の相撲部屋を募り、国技の魅力を区内外に更に幅広く発信するすみだらしい魅力を持った返礼品の一つとして観光協会とも連携した相撲部屋見学ツアーを検討してほしいが、区長の考えを伺う。

図1 返礼品として、「コト」に関する魅力あるメニューを開拓していくことは重要であると認識している。隅田川花火大会の観覧席を返礼品として提供することは、本区のシテイプロモーションにもつながるため、活用できる場所を検討するとともに実施するための条件を関係機関と協議する。相撲部屋の見学ツアーについては、本区ならではの魅力ある地域資源の紹介にもつながり、効果的であると考えるため、観光協会をはじめ関係団体と協議の上、検討する。

一般質問



墨田区議会議員 堀 よしあき



堀 議員の 全動画を QRコードから ご覧になれます。

■ふるさと納税の返礼品として隅田川花火大会や相撲部屋見学ツアーの創設を要望する。

図1 本区ではこれまで、ふるさと納税の返礼品として「モノ」の返礼品が多かったが、更なる競争激化が予想されるふるさと納税において、本区の魅力を全国に発信できる「コト」の返礼品が不可欠と考える。毎年100万人の観光客が訪れる、日本最大級の花火大会である隅田川花火大会の協賛席の在り方を見直し、ふるさと納税向けの専用観覧席も設け、返礼品として打ち出してみようか。

また、日本相撲協会とも意見交換をし、ふるさと納税の趣旨に賛同していただける区内の相撲部屋を募り、国技の魅力を区内外に更に幅広く発信するすみだらしい魅力を持った返礼品の一つとして観光協会とも連携した相撲部屋見学ツアーを検討してほしいが、区長の考えを伺う。

図1 返礼品として、「コト」に関する魅力あるメニューを開拓していくことは重要であると認識している。隅田川花火大会の観覧席を返礼品として提供することは、本区のシテイプロモーションにもつながるため、活用できる場所を検討するとともに実施するための条件を関係機関と協議する。相撲部屋の見学ツアーについては、本区ならではの魅力ある地域資源の紹介にもつながり、効果的であると考えるため、観光協会をはじめ関係団体と協議の上、検討する。

図1 今年度のスカイツリータウンへの来場者数は、700万人を超えるなど、インバウンドを含め、まちの賑わいが戻ってきている。観光需要の急速な回復を好機と捉え、関係団体等とも連携しながら、区内回遊促進策とインバウンド施策の相乗効果を発揮できるよう、戦略的に展開していく方針だ。来年度は新千円札の「富嶽三十六景・神奈川沖浪裏」採用に合わせたスタンプリーの実施、MICE誘致の検討、インバウンド対策として、多言語対応の観光冊子の発行等を予算案に入れている。

図1 今年度のスカイツリータウンへの来場者数は、700万人を超えるなど、インバウンドを含め、まちの賑わいが戻ってきている。観光需要の急速な回復を好機と捉え、関係団体等とも連携しながら、区内回遊促進策とインバウンド施策の相乗効果を発揮できるよう、戦略的に展開していく方針だ。来年度は新千円札の「富嶽三十六景・神奈川沖浪裏」採用に合わせたスタンプリーの実施、MICE誘致の検討、インバウンド対策として、多言語対応の観光冊子の発行等を予算案に入れている。

令和5年度2月議会常任委員会



企画総務委員会

写真左より/井上ひろき 委員、しもむら緑 委員長、佐藤篤 委員、小林しょう 委員

旧八広児童館の跡地活用について
八広児童館の移設に伴い未利用となっている旧跡地について、地域の要望を受け、知的障害者の通所事業用地として社会福祉法人墨田さんさん会に貸付をすることが新たに報告されました。夜間帯に会議室を地域へ貸し出す等、地域貢献策を提案。今後も具体的な協議を進めてまいります。

墨田区庁舎リニューアルプランの改定について
供用開始から34年が経過した墨田区庁舎で、時代のニーズに即した改修を進めるため、計画の改定を議論しました。庁舎内トイレの洋式化といった「利便性の向上」、職員の働き方改革を通じて区民サービスの向上を目指す「DXの推進」等、住民の方々の利便性はもちろん、区職員の方々の働き方改革にもつながるよう、着実な計画の推進を要望しました。



子ども文教委員会

写真左より/藤崎こうき 委員、坂井ユカコ 委員長、堀よしあき 委員

区立学校における働き方改革推進プランについて
教員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、誇りとやりがいを持って職務に従事できる環境を整備する事により、学校教育の質の維持向上を図っていく事を目的としてこの度プランの改定がおこわれます。子ども文教委員会では教員の働き方改革の実効性の担保をはじめ、具体的な課題解決に向けた手法等の質疑を行いました。

墨田区学校改築基本方針について
「墨田区学校施設長寿命化計画」では、学校校舎の改築周期を80年としています。80年目を迎える時期が令和30年前後に集中していることから、計画的に前倒しで改築を進める事が必要のため、「墨田区学校改築基本方針」を制定し、学校改築の基本的な考えを示すこととしました。改築にあたり、公共施設等整備基金の積み立て方針や具体的な改築手法等の方針について委員会の中で質疑を行いました。

放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会



写真左より／加藤ひろき副委員長、佐藤篤、坂井ユカコ、あべよしたけ、稲葉かずひろ

「子どもたちの放課後の居場所及び自閉症、情緒障害等支援学級の固定級設置等に関する諸問題」について会派の意見開陳を行いました。

支援級に関しては、保護者が仕事と育児の両立を図るために、支援級の全校設置に向けた積極的な取組みとそれが実現するまでの間の移動支援の拡充が必要です。

支援体制に関しては、未就学児に対する支援体制の強化には毎日の療育が受けられる体制の構築と、保育園から小学校への移行時の情報共有が必要で

す。情報提供に関しては、成績評定の取扱いなど評定を平等なものとするため、学校長が正確な判定をできるように、教育委員会によるガイドラインの策定が必要です。

不登校に関しては、ガイドラインの策定や啓発イベントを各所で挙げるなどが必要で

す。啓発に関しては、発達障害に関する社会的な理解の促進と支援体制の強化を目指し、啓発イベント等を開催することにより、発達障害が顕在化してきた社会背景を理解し受容するための一助とするべきで

す。これをもとに、引き続き議論を重ねてまいります。

公園の在り方調査・災害対策特別委員会



写真左より／大門しろう、堀よしあき、福田はるみ、藤崎こうき委員長

魅力ある公園づくり及び水害対策等に関する諸問題について、調査・検討を行いました。

管外調査では、港区、文京区ならびに新宿区における特色ある公園の設置・運営状況等について行政調査を行いました。

7回実施された委員会および延べ3回に渡る勉強会の中で、公園マスタープラン改定作業の進捗について検討・調査を行い、「公園の在り方に関する提言書」を取りまとめた結果、提言書記載の大部分が同マスタープランの改定に反映される見込みであるとのことから、一定の成果を挙げることができたものと認識しております。

一方、今年度も各地で大雨災害が発生しており、さらには令和6年1月1日に発生した能登半島地震では多くの方が被災され、今なお懸命な復旧活動が行われており、水害・地震等の自然災害から区民の生命・財産を守るため、早急に体制を整えていく必要があることから、特に災害対策については次年度以降も更なる調査・検討を行ってまいります。

自治体DX調査特別委員会



写真左より／小林しょう、しもむら緑、井上裕幾副委員長、たきざわ正宜委員長

自治体の情報システムの標準化・共通化、自治体における行政手続のオンライン化等DXに関する諸問題について調査を行いました。

今年度は初めて、自治体の情報システムの標準化・共通化、自治体における行政手続のオンライン化等DXに関する諸問題について、総合的に調査し対策を検討する委員会を設置しました。自治体DXに関する先進自治体の盛岡市及び仙台市の取組について行政調査を行い、自治体DXに関する計画の詳細及び現状について確認しました。また研修会では、DX推進の意義と事例紹介をテーマに講義を受けるとともに、活発な意見交換を行いました。

行政調査・研修会の分析及び論点整理を行い①デジタル化に関する内容を、次期墨田区基本計画に盛り込むこと。②庁内体制として、幹部職員にデジタル人材を登用し、庁内の情報連携を強化すること。③評価基準として、導入実績件数ではなく、多面的な視点を取り入れること。④行政手続のオンライン化について、優先順位を決めて取り組み、国や東京都の動向を注視すること。4点について提案いたしました。今後は「すみだ」らしいDXの推進等を図り、区民サービスの向上に取り組んでまいります。

すみだ区議会 自由民主党 所属議員紹介



たきざわ 正宜

- 自由民主党・無所属 副幹事長
- 自治体DX調査特別委員会 委員長
- 地域産業都市委員会
- 議会運営委員会

☎ 墨田5丁目34番11号
☎ 03-5247-5202



坂井 ユカコ

- 子ども文教委員会 委員長
- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会
- 予算特別委員会 委員長

☎ 東駒形2丁目2番4号
☎ 090-3617-4313



しもむら 緑

- 企画総務委員会 委員長
- 自治体DX調査特別委員会

☎ 亀沢4丁目22番8号
608
☎ 080-2443-0212



佐藤 篤

- 自由民主党・無所属 幹事長
- 議会運営委員会 委員長
- 企画総務委員会
- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会

☎ 京島3丁目9番10号101
☎ 090-8567-8293



福田 はるみ

- 墨田区議会 議長
- 区民福祉委員会
- 公園の在り方調査・災害対策特別委員会

☎ 業平4丁目5番16号
☎ 03-3618-6125



井上 ひろき

- 自治体DX調査特別委員会 副委員長
- 企画総務委員会

☎ 文花2丁目4番7号2F
☎ 070-8998-9021



あべよしたけ

- 自由民主党・無所属 副幹事長
- 区民福祉委員会 副委員長
- 議会運営委員会
- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会

☎ 京島3丁目53番2号
☎ 090-9324-1582



大門 しろう

- 自由民主党・無所属 副幹事長
- 地域産業都市委員会 副委員長
- 議会運営委員会
- 公園の在り方調査・災害対策特別委員会

☎ 文花2丁目3番7号
☎ 080-4128-6594



堀よしあき無所属

- 子ども文教委員会
- 公園の在り方調査・災害対策特別委員会

☎ 墨田4丁目19番10号
☎ 090-7218-9569



藤崎 こうき

- 自由民主党・無所属 副幹事長
- 公園の在り方調査・災害対策特別委員会 委員長
- 子ども文教委員会

☎ 向島5丁目43番18号
☎ 080-4354-1602



小林 しょう

- 企画総務委員会
- 自治体DX調査特別委員会
- 予算特別委員会 副委員長

☎ 東向島6丁目45番7号
801
☎ 090-8174-1663



稲葉 かずひろ

- 地域産業都市委員会
- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会

☎ 吾妻橋1丁目23-20
(自民党控室)
☎ 080-9462-1989



加藤 ひろき

- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会 副委員長
- 区民福祉委員会

☎ 東向島3丁目15番21号
502
☎ 090-5399-0322



スマホやパソコンで議会活動をご覧いただけます。



お気軽にご意見をお寄せください。
墨田区議会自由民主党 <http://jimin-sumida.jp/>